



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 理経
 コード番号 8226 URL <http://www.rieki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 猪坂 哲
 (氏名) 長谷川 章詞

TEL 03-3345-2153

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,011	1.6	△58	—	△57	—	△64	—
28年3月期第2四半期	2,964	1.4	△191	—	△191	—	△200	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △115百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △198百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△4.26	—
28年3月期第2四半期	△13.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,028	4,103	68.1
28年3月期	6,019	4,263	70.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,103百万円 28年3月期 4,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,300	16.2	70	—	60	—	50	3.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	15,514,721 株	28年3月期	15,514,721 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	394,917 株	28年3月期	394,917 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	15,119,804 株	28年3月期2Q	15,119,989 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢は改善しているものの、企業収益や個人消費には足踏みが見られました。また、中国及びアジア新興国経済の減速懸念に加え、英国EU離脱の影響により円高・株安が進むなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、平成28年5月23日に公表いたしましたように、新中期経営計画に基づき、当社の基盤事業であるシステムソリューション事業、ネットワークソリューション事業、電子部品及び機器事業につき、強靱化及び事業間連携を推進し、安定した収益を確保するとともに、新たな領域に進出し、市場で優位性があるビジネスモデルへの変容を推し進めることで収益の拡大を図り、業績の更なる向上を最優先課題として掲げ、日々努めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、連結売上高は30億1千1百万円（前年同期比1.6%増）となりました。損益面では、営業損失は5千8百万円（前年同期間は1億9千1百万円の営業損失）、経常損失は5千7百万円（前年同期間は1億9千1百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は6千4百万円（前年同期間は2億円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

システムソリューションにおきましては、大学向けシステム販売が前倒しで納入されるなど順調に推移し、売上高は12億7千7百万円（前年同期比49.6%増）、営業損失は5百万円（前年同期間は1億4千5百万円の営業損失）となりました。

ネットワークソリューションにおきましては、放送局向けシステムの構築案件があり、売上高は5億9千5百万円（前年同期比22.5%増）、営業損失は4千8百万円（前年同期間は5千9百万円の営業損失）となりました。

また、電子部品及び機器におきましては、防衛省向け部材の出荷遅延により、売上高は11億3千8百万円（前年同期比29.9%減）、営業損失は4百万円（前年同期間は1千3百万円の営業利益）となりました。

なお、セグメント間取引については、相殺消去しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産の合計は60億2千8百万円（前連結会計年度末比8百万円増加）となりました。

流動資産は前連結会計年度に比べて2億5千9百万円の増加となりました。

これは主に、現金及び預金は4億8千万円の減少となりましたが、受取手形及び売掛金は当第2四半期連結会計期間に売上が増加したため2億8千2百万円の増加、有価証券は満期保有目的有価証券が固定資産から流動資産に表示区分を変更したことによる増加と期日満期償還による減少により1億円の増加、商品及び製品が主に第60期第3四半期連結会計期間以降に販売予定の受注済み案件により2億3千7百万円増加したことによります。

固定資産は2億5千1百万円減少しました。

これは主に、投資有価証券の一部が償還前1年未満になり有価証券に表示区分を変更したこと、その他目的で保有している有価証券の時価が下がったため2億3千7百万円減少したこと、有形固定資産、無形固定資産の減価償却等により減少したことによります。

負債の合計は、19億2千5百万円（前連結会計年度末比1億6千9百万円増加）となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が当第2四半期連結累計期間の売上の増加に伴い6千3百万円増加したこと、前受金が1億7千9百万円増加したこと、その他の流動負債が6千5百万円減少したことによります。

純資産の合計は41億3百万円（前連結会計年度末比1億6千万円減少）となりました。

これは主に配当金の支払4千5百万円と親会社株主に帰属する四半期純損失6千4百万円の計上による利益剰余金の減少、保有する株式の時価が低下したため、その他有価証券評価差額金が3千5百万円減少したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より4億8千万円減少し、20億5千2百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間においては、5億1千万円の減少(前年同四半期は4億2千3百万円の増加)となりました。

これは主に、仕入債務の増加6千7百万円がありましたものの、売上債権の増加2億8千7百万円、たな卸資産の増加2億3千万円、税金等調整前四半期純損失5千7百万円の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間においては、9千6百万円の増加(前年同四半期3千4百万円の減少)となりました。

これは主に、満期保有目的債券償還による収入1億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間においては4千8百万円の減少(前年同四半期は4千8百万円の減少)となりました。

これは主に、支払配当金4千4百万円の支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありませんが、今後の経済情勢は、為替の変動や中国を始めとする海外経済の減速に対する不安感など、依然として先行き不透明感を払拭できない状況が続いており、業績予想に影響を与える事が予想されます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,532,780	2,052,766
受取手形及び売掛金	1,671,450	1,954,404
有価証券	200,328	300,936
商品及び製品	130,456	368,241
前渡金	147,309	270,775
その他	48,594	43,357
貸倒引当金	△162	△192
流動資産合計	4,730,757	4,990,288
固定資産		
有形固定資産	408,512	401,424
無形固定資産	44,540	39,388
投資その他の資産		
投資有価証券	537,601	299,925
その他	298,320	297,222
投資その他の資産合計	835,921	597,148
固定資産合計	1,288,975	1,037,961
資産合計	6,019,732	6,028,250
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	901,255	964,612
未払法人税等	24,588	27,583
前受金	212,068	391,718
その他	271,549	206,360
流動負債合計	1,409,462	1,590,274
固定負債		
退職給付に係る負債	286,400	289,833
その他	60,083	45,042
固定負債合計	346,484	334,876
負債合計	1,755,947	1,925,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,426,916	3,426,916
資本剰余金	615,043	615,043
利益剰余金	344,117	234,405
自己株式	△112,250	△112,250
株主資本合計	4,273,826	4,164,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,330	33,138
繰延ヘッジ損益	△1,670	△1,211
土地再評価差額金	△11,613	△11,613
為替換算調整勘定	△49,955	△68,595
退職給付に係る調整累計額	△15,131	△12,733
その他の包括利益累計額合計	△10,041	△61,015
純資産合計	4,263,785	4,103,098
負債純資産合計	6,019,732	6,028,250

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,964,626	3,011,925
売上原価	2,251,120	2,163,001
売上総利益	713,505	848,924
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	450,584	450,222
退職給付費用	19,701	19,158
その他	435,045	438,149
販売費及び一般管理費合計	905,330	907,530
営業損失(△)	△191,824	△58,605
営業外収益		
受取利息	989	1,070
受取配当金	1,033	1,038
受取賃貸料	1,191	1,185
その他	1,035	1,701
営業外収益合計	4,250	4,995
営業外費用		
支払手数料	3,406	3,406
その他	416	15
営業外費用合計	3,823	3,421
経常損失(△)	△191,397	△57,032
特別損失		
会員権評価損	2,200	-
特別損失合計	2,200	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△193,597	△57,032
法人税、住民税及び事業税	7,096	7,298
法人税等調整額	143	21
法人税等合計	7,240	7,320
四半期純損失(△)	△200,838	△64,352
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△200,838	△64,352

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△200,838	△64,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,059	△35,191
繰延ヘッジ損益	△2,305	459
為替換算調整勘定	△559	△18,640
退職給付に係る調整額	2,683	2,398
その他の包括利益合計	1,878	△50,974
四半期包括利益	△198,959	△115,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△198,959	△115,327
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△193,597	△57,032
減価償却費	16,435	15,702
受取利息及び受取配当金	△2,022	△2,108
会員権評価損	2,200	-
売上債権の増減額(△は増加)	762,782	△287,725
たな卸資産の増減額(△は増加)	△181,194	△230,820
前渡金の増減額(△は増加)	△40,540	△123,465
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△930	△2,919
仕入債務の増減額(△は減少)	△80,574	67,630
前受金の増減額(△は減少)	265,226	180,160
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△22,886	△43,433
その他	△98,918	△17,192
小計	425,978	△501,203
利息及び配当金の受取額	6,179	5,076
法人税等の支払額	△9,007	△14,395
営業活動によるキャッシュ・フロー	423,150	△510,522
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,020	△3,563
無形固定資産の取得による支出	△28,877	△300
投資有価証券の償還による収入	-	100,000
保険積立金の積立による支出	-	△40,000
保険積立金の払戻による収入	-	40,000
差入保証金の差入による支出	△234	△98
差入保証金の回収による収入	61	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,070	96,137
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額(△は増加)	△23	-
配当金の支払額	△45,239	△44,904
その他	△3,095	△3,095
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,357	△48,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△423	△17,629
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	340,298	△480,014
現金及び現金同等物の期首残高	2,144,968	2,532,780
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,485,266	2,052,766

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	システムソ リューション	ネットワ ークソリ ューション	電子部品及び 機器			
売上高						
外部顧客への売上 高	854,098	485,906	1,624,621	2,964,626	-	2,964,626
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	15,472	19,112	1,309	35,894	△35,894	-
計	869,570	505,018	1,625,931	3,000,520	△35,894	2,964,626
セグメント利益又は 損失(△)	△145,731	△59,309	13,216	△191,824	-	△191,824

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	システムソ リューション	ネットワ ークソリ ューション	電子部品及び 機器			
売上高						
外部顧客への売上 高	1,277,773	595,433	1,138,718	3,011,925	-	3,011,925
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	36,828	7,545	645	45,018	△45,018	-
計	1,314,601	602,978	1,139,363	3,056,944	△45,018	3,011,925
セグメント損失(△)	△5,319	△48,430	△4,855	△58,605	-	△58,605

(注)セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。